

法政大学フィールドワーク ～江戸の歴史と発掘調査～



市ヶ谷・四ツ谷界限 全行程4.5km





⑤ 四谷見附・甲州街道

⑥ 江戸城外堀
(真田濠)

⑦ 喰違見附

⑧ 玉川上水
の石柵

⑨ 岩城柵屋呉服店跡

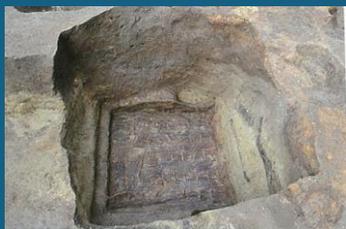
歩 1時間4分
4.5 km

フィールドワークの見どころ

市ヶ谷・四ツ谷界限
全行程4.5km

①法政大学構内遺跡の発掘調査

2014年5月から3か月間発掘調査を実施、江戸時代の大規模土木工事の跡や旗本屋敷にあった地下室の跡等が発見された。



②市ヶ谷江戸歴史散歩コーナー(東京メトロ)

地下鉄南北線工事の前に行われた発掘調査成果を展示。
地下に埋まっていた上水道の木樋や外濠の石垣等が多数発見された。

③市谷見附

1636(寛永13)年に美作津山藩主森長継が築造。明治4年に解体、石垣の一部が残存。
隣の赤い橋は「昭和4年製作」の市ヶ谷水管橋。横河橋梁製作所(現：横河ブリッジ)が工事を担当。

④国史跡 江戸城外堀跡

1956(昭和31)年に指定。外濠の総延長約14kmのうち、江戸城西側の約2.5kmを指定。千代田区、新宿区、港区にまたがっている。



⑤四谷見附・甲州街道

1636(寛永13)年に萩藩毛利秀就が築造。明治32年に石垣がほぼ撤去。甲州街道は、江戸五街道のひとつ。江戸城半蔵門から甲府城(舞鶴城)まで続く。

⑥江戸城外堀(真田濠)

寛永13(1636)年に完成。甲斐国大名の真田信之らが築造。第2次大戦の瓦礫処理のため、昭和24(1949)年に埋め立てられた。国の史跡。



⑦喰違見附

1612年に丸亀藩主生駒隆俊らが築造。江戸城外郭門で唯一の、土塁による築造。

⑧玉川上水の石柵

17世紀中頃に開削された玉川上水本管の石柵。ここに木樋が接続され分岐。



⑨岩城柵屋呉服店跡

江戸中期から後期に武士向けに栄えた呉服屋。日本橋越後屋(三越)と並び称された。



⑩怪談：番町皿屋敷

番町の旗本屋敷で働く下女・お菊が、藩主の大切にしている10枚組皿の1枚を割ってしまう。この罰を苦に井戸に身を投げた。その後、井戸からは「1枚、2枚...」と数える悲しい女の声が聞こえるようになった。



⑪東郷元帥記念公園

東郷平八郎は明治の海軍司令官。私邸の一部が寄付され、公園化。